



一発合格

泉 隆太 さん

神戸大学
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人5年目 2年1ヵ月

1日のスケジュール

0:00	自由時間	12:00	休憩
1:00		13:00	
2:00		14:00	筋トレ
3:00		15:00	風呂
4:00		16:00	
5:00	睡眠	17:00	自習
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	食事など
9:00		21:00	
10:00	食事	22:00	
11:00	自習	23:00	自習
12:00		0:00	

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約5時間

TACのココが良かった！

WEB個人別成績表

短答式・論文式試験ともに各科目の足切りラインが設定されているため、合格のためには弱点の克服が最も重要である。その点、個人別成績表は大問ごとの点数・順位・偏差値・判定などが記載され、テコ入れすべき科目や苦手な分野が炙り出される。これは合格のための勉強計画の策定に有効であった。

TACの個人別成績表は苦手な科目などが炙り出されるので学習計画に有効だった

公認会計士を目指したきっかけ



私は大学卒業後、一般事業会社の事務系総合職として5年働きました。その会社では終身雇用されることを前提として社内スキルを習得したりキャリア形成をする他なく、先行きが不透明な現代社会を生きる上で、自分がいつでも・どこでも働けるスキルを持っていないことに対する不安が募りました。そこで手に職をつけるために目指そうと思い立ったのが公認会計士でした。社会人5年目の冬、27歳の時のことでした。

TACを選んだ理由



私が予備校を選ぶにあたって最も重視したことは学習環境でした。私は地方在住のため、予備校校舎の数は都会に比べて圧倒的に劣っていましたが、その中でTACは地元到校舎があり、通学による学習が可能でした。

他校に比べてTACは地方の受験生にも手厚くサポートをしてくれると感じました。また、次点で重視していた教材の量や内容が他校よりも自分に合っていると感じたこともTACを選択した理由です。

具体的な学習法



会計士試験の中で最も重要な科目は会計学計算です。そしてこれらは習得に最も時間を要する科目でもあるため、入門期最初の数ヵ月間は勉強時間の9割以上を計算に充てました。講義で学んだ分野のトレーニングを通して解き方を想起し、テキストに戻って再学習する流れを4~5回繰り返しながら3~4ヵ月で長期記憶に定着するイメージです。内容を忘れていてもテキストを見ずにトレーニングを解いてみるのが重要で、それによりアウトプットの訓練と弱点のあぶり出しに役立ちます。

一方理論科目は企業法の講義消化と短答問題集だけをやっていました。上級期になると各科目の上級講義を遅滞なく受講しました。理論科目の復習は主にテキストを精読し、短答問題集を解きました。計算科目は刃物を研ぐがごとく、上級期以降最低でも3日に一度は問題を解き、計算力の高止まりを心がけました。計算のやり方が分かるからといって実際に解かないのは厳禁です。問題を解かないと計算力は落ちます。直前期には答練を用いてアウトプットの実力を確認すると同時に足りない部分をテキストでインプットしました。また、各理論テキストを5日以内に1周し知識を高止まりさせました。論文期も租税、経営の計算は会計学計算と同じ要領で長期記憶化を目指し、各種理論科目はテキスト精読および論証のインプットとアウトプットを行い、知識を定着させるだけでなく実際に答案が作成できる力を養成しました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



夢を抱く人間はこの世界に多数いますが、夢に向かって行動できる人間はその中の数パーセントでしょう。私の合格体験記をご覧の皆さんは行動を起こそうとしているか、既に行動を起こした数パーセントの勇氣ある人間です。公認会計士試験は野球で50-50を達成するような特殊な才能を必要とする試験ではなく、地道な努力で多くの人が達成可能な試験です。勇氣を出して行動を起こした皆さんのやるべきことは目の前の階段を一歩ずつ登り続けること、それだけです。合格までの道のりは単調で、地味で、苦しい道のりでした。しかし合格を勝ち取った今、その思い出すべてが私の財産であり、頂上からの景色は今まで見たことのない最高の景色でした。TACには合格に必要な講師、講義、教材、仲間がすべて揃っています。TACであなたの夢を叶えて下さい。